

市政担当に当たっての公約は

(2007年の齋藤氏のマニフェストから)

『地域医療の充実、安全安心の大きな要素。よって市民病院の再建を図り、各医療機関との連携によって高度で良質な医療を受けることができる環境を整える。』でありました。



市民の皆さんの声

あれから4年。今、市民の皆さんに齋藤市長の評価をしていただくと

- ◎「市長は、一生懸命頑張っている。ところが数が頼りに何でもかんでも反対し、次々と議案を否決する前市長派が市議会にいる限り、やりたくてもやれない。これでは市長が可哀想だ！」
- ◎「市長は舞鶴の将来を見据え、4つの病院を再編し、地域医療を維持継続すべく奮闘中にもかかわらず、共済病院は離脱した。こんな身勝手な行動は許さない。」

という回答が判で押したように返ってきます。それでは、皆さんは、以下の事実をご存知でしょうか？

齋藤市長の無責任 その1

瀬戸山 元一氏頼りの再建計画

皆さんは、瀬戸山 元一氏をご記憶でしょうか？瀬戸山氏は、元・舞鶴市民病院院長であり、平成19年の市長選挙では齋藤現市長の応援を熱心になされ、舞鶴市民病院再建の絶対的な切札として市長並びに市長支援者の期待を一身に集めた御仁であります。

齋藤市長が誕生した数か月後の平成19年5月には「舞鶴地域医療あり方検討委員会」が設置され、その委員として迎えられています。

しかし、市長の守護神であった瀬戸山氏が平成19年9月高知医療センターの設計変更を巡る贈収賄事件で逮捕されるという事態に陥ってしまいました。

(平成22年8月有罪確定、懲役2年執行猶予4年。)

齋藤市長の無責任 その2

対話のない計画変更

瀬戸山氏の逮捕によって、市民病院の再建計画はとん挫し、暗礁に乗り上げてしまいました。

こうした状況の変化の中で、齋藤市長は市民にも議会にも十分な説明がないままに、「市民病院再建」から「病院再編」に舵を切り、自民党政権下での国からの100億円の交付金を背景に、再編計画を組んでしまったのです。

しかし、ここでも思わぬ状況の変化に見舞われてしまいました。それは、政権交代により、国からの交付金が25億円に減額されてしまったのです。にもかかわらず、齋藤市長は、市民にも議会にも十分な説明をしないまま、不必要な箱モノありきの計画を強引に押し進めようとしているのです。

齋藤市長の無責任 その3

財源の見通しもない、無駄の多い病院再編計画

齋藤市長は、医療センターの空地に約100億円という大金をかけ、400床の新病院を建てるという病院再編計画を立てています。

財源はどうするのでしょうか？25億円の交付金があるとしても、75億円分が不足してしまいます。市債を発行するのでしょうか？

市債とはすなわち市が背負う借金です。舞鶴市の財政にそんな余裕はあるのでしょうか？いったいどんな行政サービスを削るのでしょうか？

そして、なにより市民にどれほどの説明をし、議会とどれほど議論をしてきたのでしょうか？

「全く独断によるものであり、悪政をこれ以上、継続させてはならない。」と思うのですが……。

それなら、どうする!? 答えはここにある!

それでは、舞鶴市民は十分な医療をあきらめなくてはいけないのか!?

ここまでお話しすると、よく聞かれる市民の声は、「それじゃあ、お金がないからといって、十分な医療をあきらめるしかないの?」というものです。

そんなことはありません。

知恵を集めて、みんなが納得できる 無駄のない医療再編を!

～市民の皆さんの知恵を集めれば、市民・患者の方々にも、市の財政にも負担をかけない、無駄のない医療再編は可能です!～

- ・診療所も含めた医療機関の連携強化により、箱ものに頼らない医療再編。
- ・西地区の基幹病院として日赤病院を強化し支援する。
- ・市民病院職員の雇用を確保しつつ、効率のよい運営を図る。

無駄のない医療再編。 それができる市長予定候補が、今回私たちが 強力に支援する「赤ひげ」すなわち たたま良三氏です。

残る皆さんの疑問は「お医者さんに行政ができるのか?」でしょうね。赤ひげは、医師であると同時に病院長、すなわち経営者なのです。舞鶴の歴代市長のうち、第3代目の市長 柳田秀一氏と第5～10代目の市長 佐谷 靖氏は、医師です。お2人共、その大役を立派に勤め上げられています。

従って、皆さんのご心配も無用と 信じて疑いません。



りょう そろ
たたま良三 (多々見 良三)

舞鶴市愛宕浜町在住(昭和25年生まれ/60歳)

- 舞鶴共済病院 前病院長
- 昭和55年 3月 金沢大学医学部大学院博士課程卒業
- 金沢大学医学博士号修得
- 昭和57年 4月 舞鶴共済病院 循環器科医員
- 平成17年10月 舞鶴共済病院 病院長 約30年間、舞鶴の医療活動に従事し、現在に至る

- ・(社)京都府医師会 参与
- ・日本内科学会 認定内科医
- ・(社)舞鶴医師会 理事
- ・日本循環器学会 循環器専門医